

田沢湖高原でたけのこ祭り開催

田沢湖高原温泉郷のみなさんが主催する「たけのこ祭り」が、高原温泉郷第2市営駐車場（高原ヴィラ田沢荘前）を会場に、6月3日から11日まで、9日間開催されました。

これは、地元で採れる「生保内たけのこ」を、観光で訪れたみなさんに知ってもらおうと、平成14年から行われ5回目の開催となります。

期間中は、採りたてのたけのこやわらびなどの山菜が並べられたほか、たけのこの炭火焼き、たけのこご飯、たけのこ汁なども販売され、大勢の人で賑わいました。



あざやかに咲き誇る 生保内公園つつじ祭り

約1千株1万本のレンゲツツジが自生している生保内公園を会場に、5月26日から6月4日まで「生保内公園つつじ祭り」が開催されました。

好天に恵まれた3日、4日には家族連れやグループなど多くの人々が訪れ、公園内を散策したり、ステージで行われる郷土芸能を見ながら、お弁当を広げる光景が見られました。

期間中はつつじの群生がライトアップされたほか、宝探しやたざわこ吹奏楽団による演奏などが催され、多くの人で賑わいました。

かくのだて歴史案内人組合 案内者5万人突破

平成7年12月に設立、翌8年4月から活動を始めた「かくのだて歴史案内人組合」(組合長・佐藤正美)の利用者が5月21日、5万人目に達しました。

記念の5万人目となったのは長野県北佐久郡御代田町の内堀勝弘さん(64歳)、麗子さん(55歳)夫婦。勝弘さんは「4年前に友人たちと角館を訪れたが、短い時間で足早に見学した。今度は、ゆっくりと時間をとり、妻にもぜひ見せたい」と夫婦で再度角館を訪れたそうです。

角館樺細工伝承館で行われた記念セレモニーで花束、記念品が贈られた二人は、「こんなに歓迎され、恐縮です」と笑顔で喜んでいました。

同組合の案内人は30代から80代までの男女35人。有料で観光案内を行うほか、冬期間は武家屋敷岩橋家で「角館冬がたり」を無料で実施、観光客から好評を得ています。



花束を受け取る内堀勝弘さん(中央)と麗子さん(左)夫婦

おめでとうございます 白寿(99歳)のお祝い

6月1日に角館町山谷川崎黒沢の黒澤ツルエさん、6月18日に角館町岩瀬下夕野の中村イサヲさんが99歳の白寿を迎えられ、仙北市からお祝いと花束が贈呈されました。二人とも「『食』が長寿の秘訣です」と話し、3度の食事を規則正しく食べているそうです。



黒澤ツルエさん(前列左から2人目)



中村イサヲさん(前列中央)